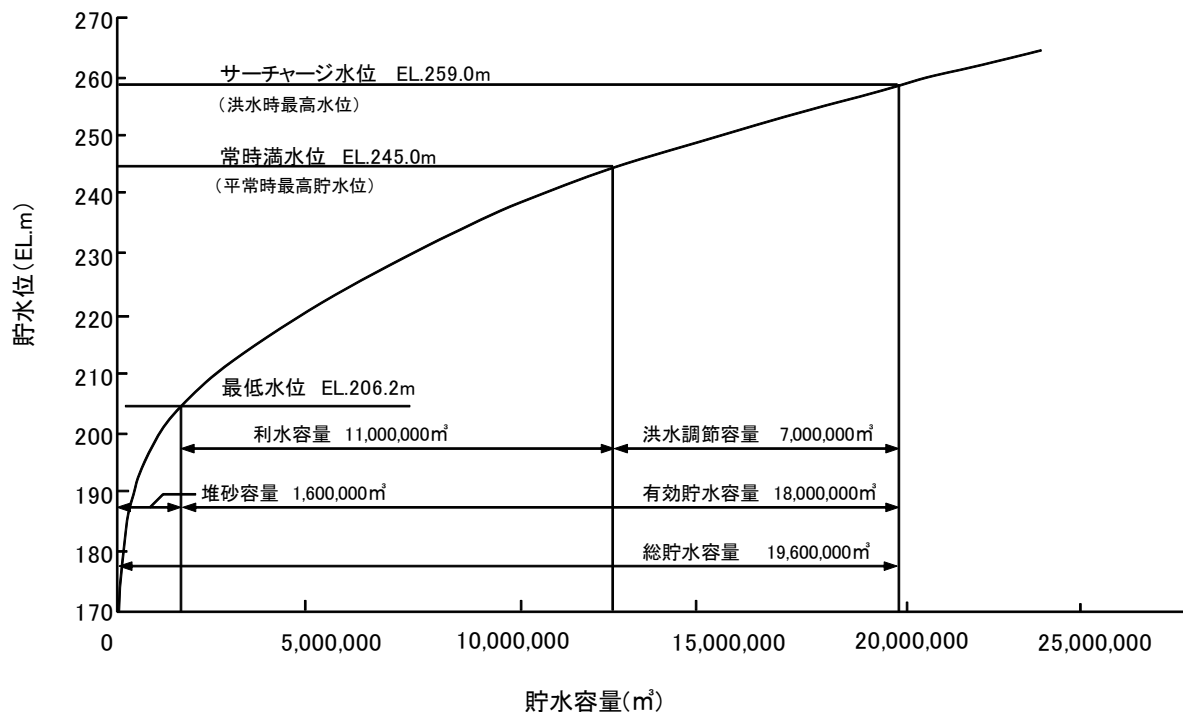


おおやま
大山ダム

1. 施設諸元

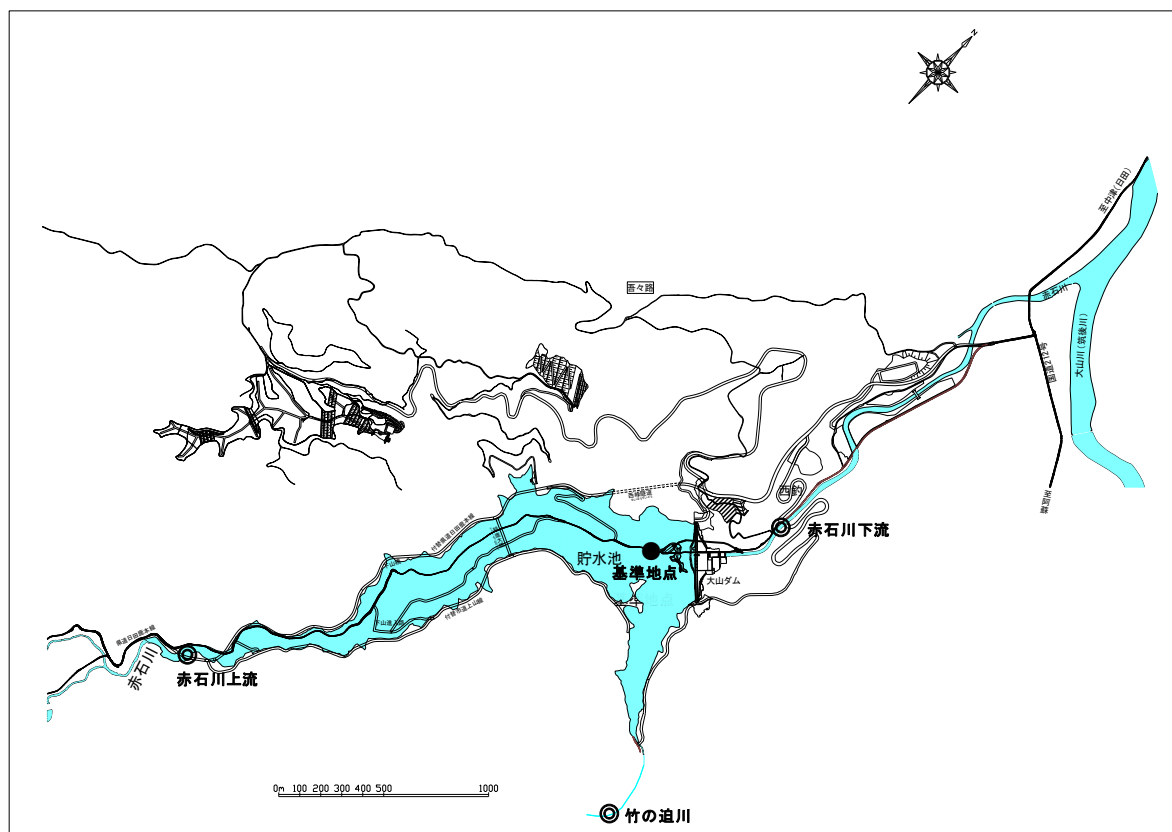
大山ダム		筑後川水系 赤石川	
		管理開始：2013年4月1日	
目 的			
<p>洪水調節 大山ダム地点においては100年に1回の確率で発生する規模の洪水を対象に計画高水流量を690m³/sとし、570m³/sの洪水調節を行い、ダム下流の赤石川および筑後川本川沿岸の洪水被害の軽減を図るものである。</p> <p>流水の正常な機能の維持 良好な河川環境を維持し、歴史的に利用されてきた取水を安定させるために、必要に応じて大山ダムで貯めた水を補給する。</p> <p>水道用水 久留米市瀬ノ下地点において、水道用水として新たに最大1.31m³/sを開発し、福岡県南広域水道企業団（最大0.707m³/s）及び福岡地区水道企業団（最大0.603m³/s）の取水を可能とする。</p>			
諸 元			
河川名	筑後川水系 赤石川	流域面積	33.6 km ²
位置	右岸 大分県日田市大山町 左岸 大分県日田市大山町	湛水面積	0.6 km ²
型式	重力式コンクリートダム	湛水延長	2.9 km
堤頂長	370.0 m	洪水時最高水位	EL. 259.00 m
堤高	94.0 m	平常時最高貯水位	EL. 245.00 m
堤体積	580,000 m ³	最低水位	EL. 206.20 m
		総貯水量	19,600,000 m ³
		有効貯水量	18,000,000 m ³
		洪水調節容量	7,000,000 m ³

貯水池水位-容量曲線図



2. 水質基本情報

(1) 水質基本情報図



凡例

地点	計器測定	定期 水質分析	生物分析 (植物プランクトン)	底質調査
●	○	○	○	○
◎	—	○	—	—

(2) 主な取水状況

取水地点	浄水場地点	取水者情報		取水地点	使用用途
		福岡地区水道企業団	牛頸浄水場	筑後川右岸 (久留米市)	水道用水
		福岡県南広域水道企業団	荒木浄水場	筑後川左岸 (久留米市)	水道用水

* 上記は大山ダム利水者

(3) 環境基準類型指定

大山ダムがある赤石川は、環境基準類型が未指定であるため、河川については下流本川筑後川の環境基準類型を参考とし、ダム湖については下流本川上流の松原ダム湖の環境基準類型を参考とする。

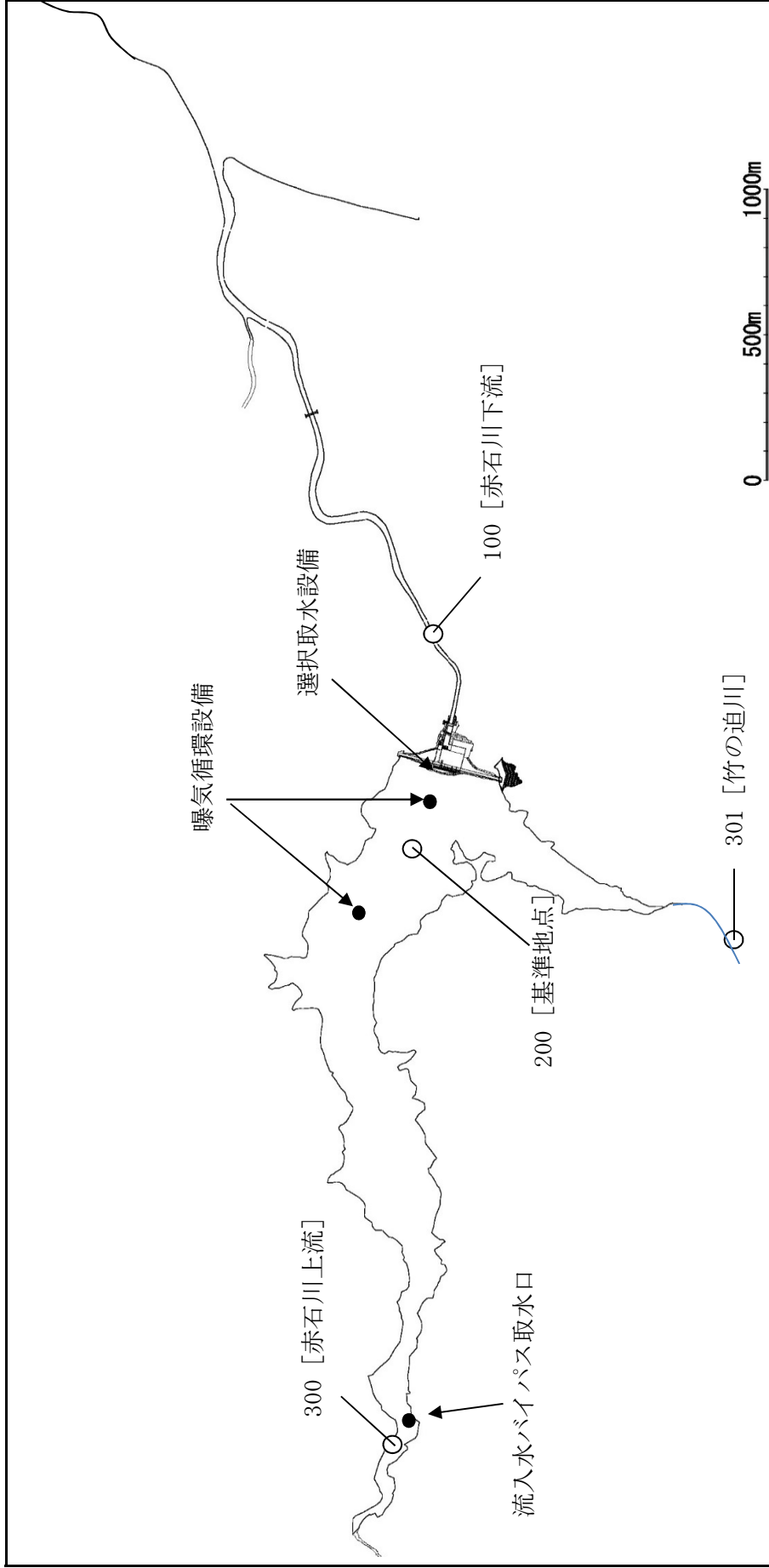
1) 筑後川 (2) 松原ダムから豆津橋まで (参考)

環境基準 類型区分	類型指定年	項目及び基準値				
		pH	BOD	SS	DO	大腸菌数
河川A	昭和48年	6.5以上 8.5以下	2mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	300CFU /100mL以下
		全亜鉛	ノニルフェノール		直鎖アルキルベンゼン スルホン酸及びその塩	
河川生物 B	平成22年	0.03mg/L以下	0.002mg/L以下		0.05mg/L以下	

2) 松原ダム湖 (参考)

環境基準 類型区分	類型指定年	項目及び基準値				
		pH	COD	SS	DO	大腸菌数
湖沼A	平成15年	6.5以上 8.5以下	3mg/L以下	5mg/L以下	7.5mg/L以上	300CFU /100mL以下
		全窒素	全りん			
湖沼III	平成15年	0.4 mg/L 以下	0.03 mg/L 以下			
生物B	— (河川参考)	全亜鉛	ノニルフェノール		直鎖アルキルベンゼン スルホン酸及びその塩	
		0.03mg/L以下	0.002mg/L以下		0.05mg/L以下	

3. 水質調査の実施状況
(1) 水質調査地点位置図



- 下流河川：100番台（代表地点を100番とする。）
- 貯水池内：200番台（代表地点を200番とする。）
- 流入河川：300番台（代表地点を300番とし、補助地点を301とする。）

(2)2023年 調査実施状況(項目、測定地点、測定回数)

(年測定回数:回)

	調査項目	流入河川		貯水池内	下流河川(放流)		
		300 赤石川上流	301 竹の迫川	200 基準地点	100 赤石川下流		
水質	一般項目	透視度	12	12		12	
		透明度			12		
		水色			12		
		臭気	12	12	*12	12	
		水温	12	12	*※12	12	
		濁度	12	12	*※12	12	
		電気伝導度	12	12	*※12	12	
		酸化還元電位			*※12		
	生活環境項目(環境基準)など	斜字: 関連項目	溶存酸素量(DO)	12	12	*※12	12
			水素イオン濃度(pH)	12	12	*※12	12
			生物化学的酸素要求量(BOD)	12	12	*12	12
			化学的酸素要求量(COD)	12	12	*12	12
			浮遊物質(SS)	12	12	*12	12
			大腸菌数	12	12	*12	12
			全窒素	12	12	*12	12
			全りん	12	12	*12	12
			全亜鉛			*12	
			フェノール			12	
	富栄養化関連項目	クロロフィルa	12	12	*12	12	
		フェオフィチンa			*12		
	形態別栄養塩項目	アンモニア性窒素	12	12	*12		
		亜硝酸性窒素	12	12	*12		
		硝酸性窒素	12	12	*12		
		オルトリン酸態リン	12	12	*12		
		溶解性総リン	12	12	*12		
		溶解性オルトリン酸態リン	12	12	*12		
	水道水源関連項目	トリハロメタン生成能			4		
		2-MIB			12		
健康項目	ジェオスミン			12			
	カドミウム			2			
	全シアン			2			
	鉛			2			
	六価クロム			2			
	砒素			2			
	総水銀			2			
	アルキル水銀			2			
	PCB			2			
	ジクロロメタン			2			
	四塩化炭素			2			
	1,2-ジクロロエタン			2			
	1,1-ジクロロエチレン			2			
	シス-1,2-ジクロロエチレン			2			
	1,1,1-トリクロロエタン			2			
	1,1,2-トリクロロエタン			2			
	トリクロロエチレン			2			
	テトラクロロエチレン			2			
	1,3-ジクロロプロペン			2			
	チウラム			2			
	シマジン			2			
	チオベンカルブ			2			
	ベンゼン			2			
	セレン			2			
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素			*12			
	ふっ素			2			
	ほう素			2			
	1,4-ジオキサン			2			
底質	強熱減量			1			
	化学的酸素要求量(COD)			1			
	全窒素			1			
	全りん			1			
	硫化物			1			
	鉄			1			
	マンガン			1			
	カドミウム			1			
	鉛			1			
	六価クロム			1			
	砒素			1			
	総水銀			1			
	アルキル水銀			1			
	PCB			1			
	チウラム			1			
	シマジン			1			
チオベンカルブ			1				
セレン			1				
粒度組成			1				
備考	・生活環境項目など ①12回:毎月測定 ②4回:2月、5月、8月、11月測定 ・健康項目:2月、8月測定 ・底質項目:8月測定 ・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は、形態別栄養塩項目の「硝酸性窒素」と「亜硝酸性窒素」の分析結果にて算出 * :3水深測定項目(表層、1/2水深、底層) ※:計器測定項目(多水深測定)						

4. 2023年 水質の概況

(1) 施設全体の水質の概況

2023年の大山ダムの水質状況は、貯水池内及び下流河川では全窒素及び全りんが低い値で推移し、貯水池表層で4月～7月に植物プランクトンによる着色現象が発生した。その他の項目は、多少の変動が見られるものの過去5年平均と同程度であり、水質は良好であった。

貯水池内では、4月17日～8月1日まで貯水池全体で淡水赤潮が発生した。そのため、巡視の強化や下流河川に影響を及ぼさないよう選択取水深を変更し、下流河川への影響軽減対策を行った。

また、アオコ発生抑制のため4月5日～11月1日まで気泡式循環設備の運転を実施し、水象条件に従い段階的に曝気吐出深を下げる効果的な曝気運用を行い、アオコによる水質障害は起きなかった。

(2) 地点ごとの水質の状況

1) 300 赤石川上流（流入河川）

2023年の経月変化を過去5年平均と比較すると、全窒素と全りんは年間をとおして低い値で推移し、通年良好な水質であった。項目別では、7月に降雨に伴う影響により大腸菌数が環境基準値を超過した。

2023年の年平均値または年間75%値の経年変化をみると、項目別においても概ね横ばい傾向であった。

2) 301 竹の迫川（流入河川）

2023年の経月変化を過去5年平均と比較すると、7月に降雨の影響により大腸菌数が環境基準値を超過したが、通年良好な水質であった。

2023年の年平均値または年間75%値の経年変化をみると、項目別においても概ね横ばい傾向であった。

3) 200 基準地点（貯水池内 表層）

2023年の経月変化を過去5年平均と比較すると、全窒素と全りんは低い値で推移した。貯水池表層の項目別では4月にSS、COD、全窒素が、5月にCODが、7月はSSが環境基準値を超過した。

2023年の年平均値または年間75%値の経年変化をみると、項目別においても概ね横ばい傾向であるが、全窒素と全りんは低い値を示した。

4) 100 赤石川下流（下流河川）

2023年の経月変化を過去5年平均と比較すると、5月にBODが環境基準を超過したが、通年良好な水質であった。

2023年の年平均値または年間75%値の経年変化をみると、項目別においても概ね横ばい傾向であった。

(2)健康項目

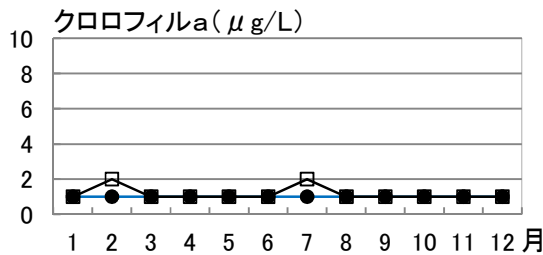
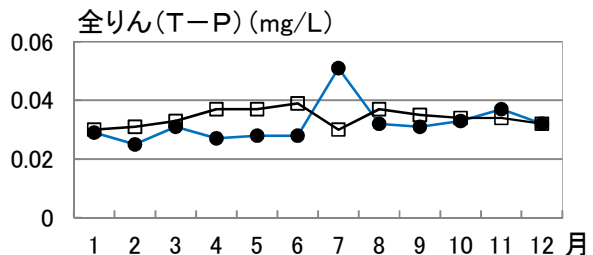
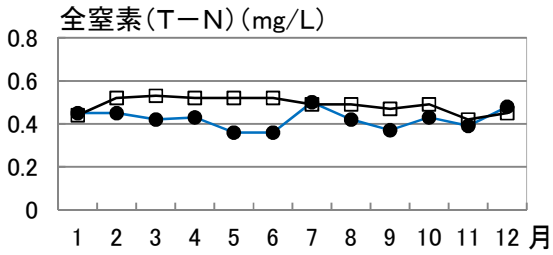
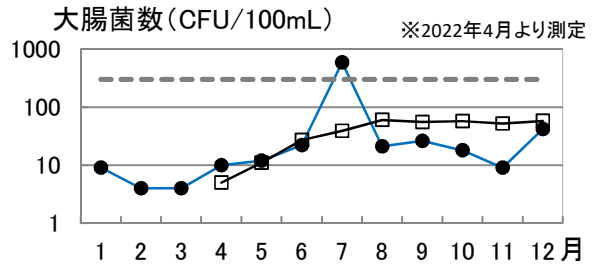
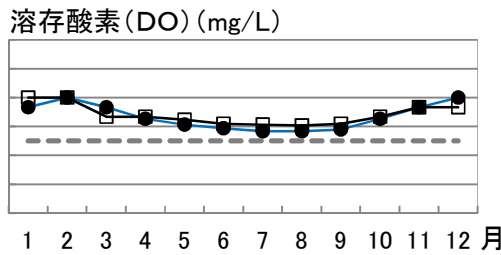
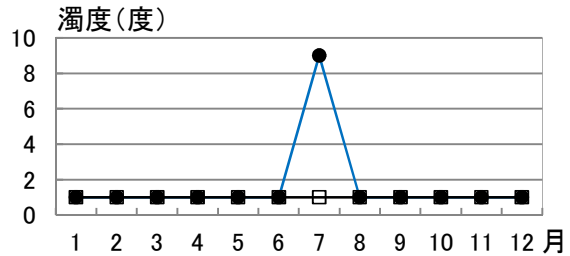
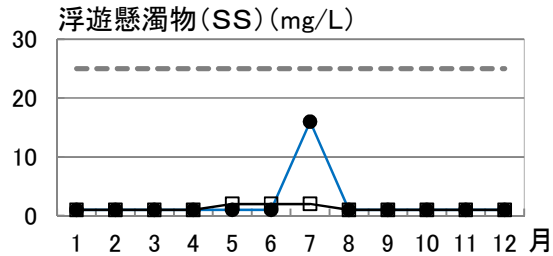
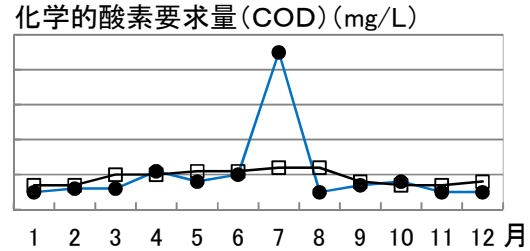
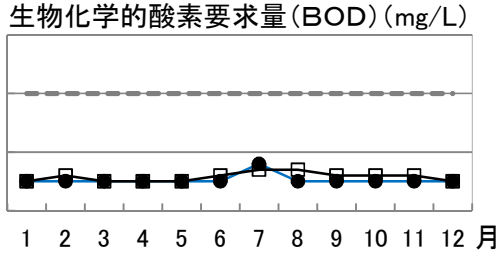
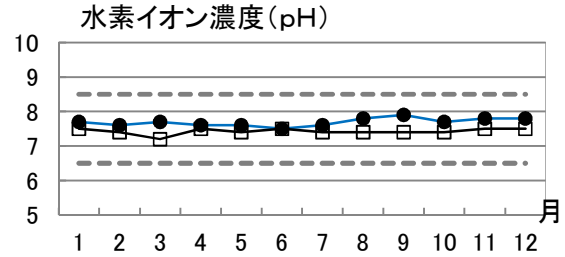
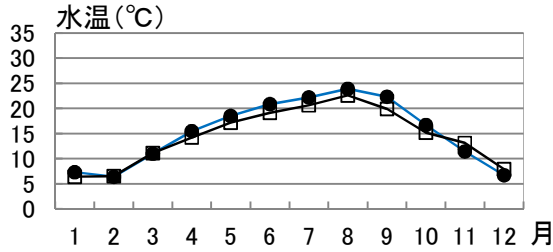
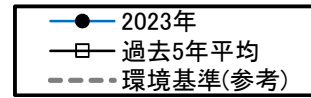
測定項目	環境基準値	地点名	2月	8月
カドミウム (mg/l)	0.003	200貯水池内基準地点	<0.0003	<0.0003
全シアン (mg/l)	検出されないこと	200貯水池内基準地点	<0.1	<0.1
鉛 (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.005	<0.005
六価クロム (mg/l)	0.02	200貯水池内基準地点	<0.01	<0.01
砒素 (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.005	<0.005
総水銀 (mg/l)	0.0005	200貯水池内基準地点	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀 (mg/l)	検出されないこと	200貯水池内基準地点	<0.0005	<0.0005
PCB (mg/l)	検出されないこと	200貯水池内基準地点	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン (mg/l)	0.02	200貯水池内基準地点	<0.002	<0.002
四塩化炭素 (mg/l)	0.002	200貯水池内基準地点	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004	200貯水池内基準地点	<0.0004	<0.0004
1, 1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.1	200貯水池内基準地点	<0.01	<0.01
シス-1, 2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04	200貯水池内基準地点	<0.004	<0.004
1, 1, 1-トリクロロエタン (mg/l)	1	200貯水池内基準地点	<0.1	<0.1
1, 1, 2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006	200貯水池内基準地点	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.001	<0.001
1, 3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002	200貯水池内基準地点	<0.0002	<0.0002
チウラム (mg/l)	0.006	200貯水池内基準地点	<0.0006	<0.0006
シマジン (mg/l)	0.003	200貯水池内基準地点	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ (mg/l)	0.02	200貯水池内基準地点	<0.002	<0.002
ベンゼン (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.001	<0.001
セレン (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.002	<0.002
ふっ素 (mg/l)	0.8	200貯水池内基準地点	<0.08	<0.08
ほう素 (mg/l)	1	200貯水池内基準地点	<0.1	<0.1
1,4-ジオキサン (mg/l)	0.05	200貯水池内基準地点	<0.005	<0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10	200貯水池内基準地点	<1	<1

(3)底質項目

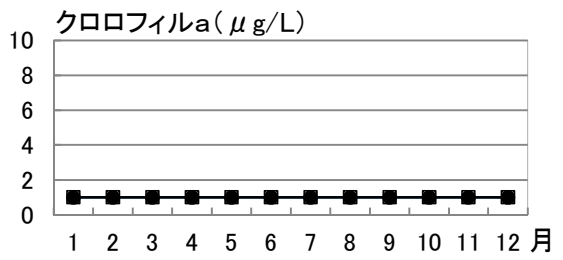
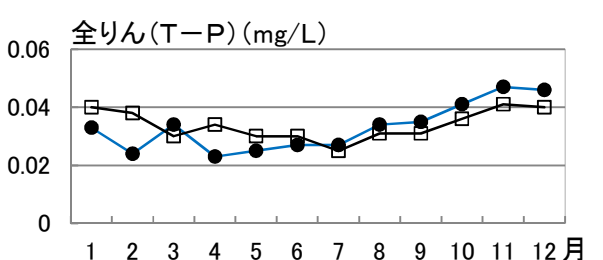
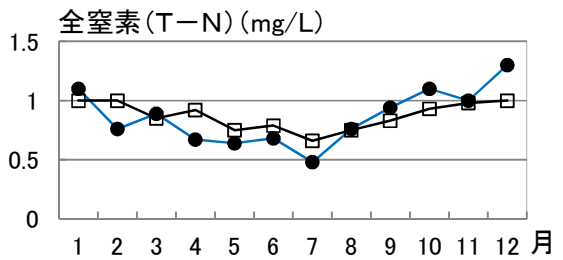
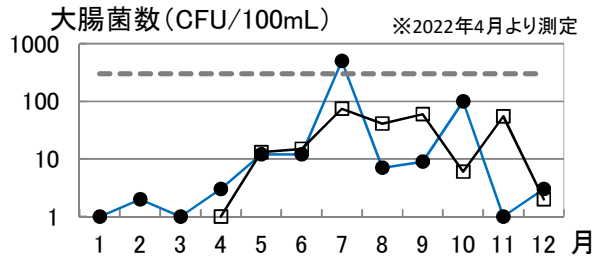
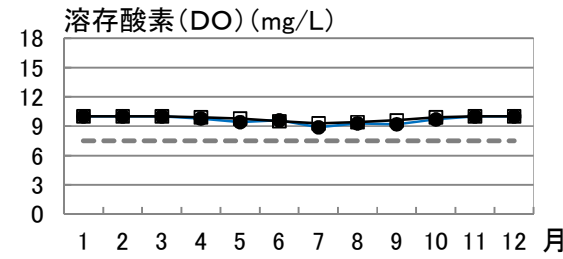
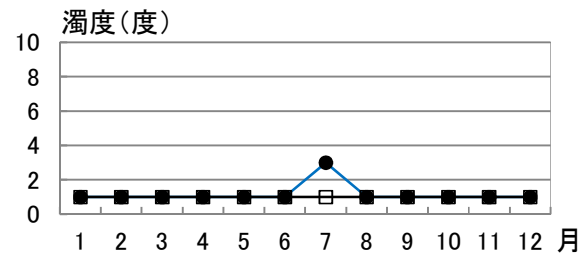
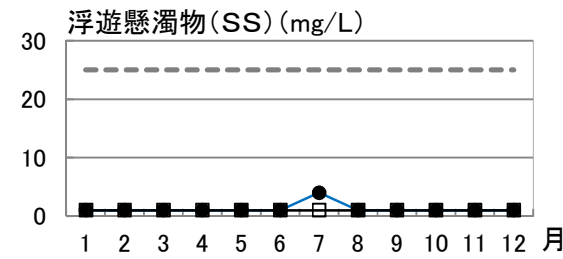
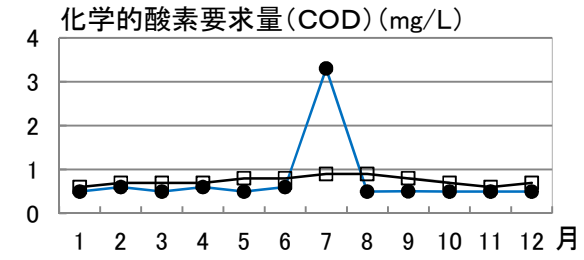
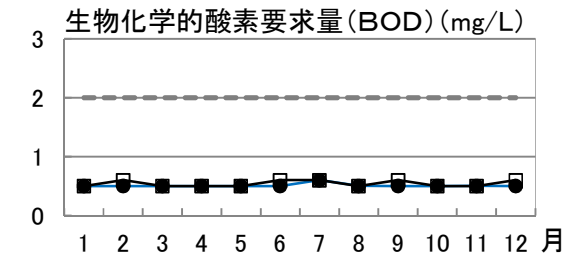
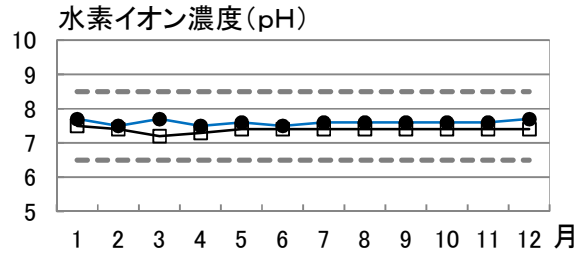
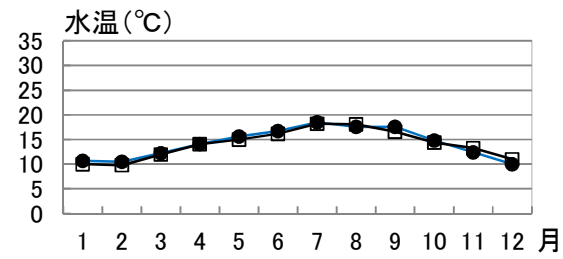
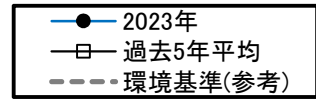
測定項目	地点名	8月
強熱減量 (%)	200貯水池内基準地点	10.4
化学的酸素要求量(COD) (mg/g)	200貯水池内基準地点	33
全窒素(T-N) (mg/g)	200貯水池内基準地点	3.6
全りん(T-P) (mg/g)	200貯水池内基準地点	0.84
硫化物 (mg/g)	200貯水池内基準地点	0.22
鉄 (mg/kg)	200貯水池内基準地点	27000
マンガン (mg/kg)	200貯水池内基準地点	1000
カドミウム (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.5
鉛 (mg/kg)	200貯水池内基準地点	11.0
六価クロム (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.5
砒素 (mg/kg)	200貯水池内基準地点	4.40
総水銀 (mg/kg)	200貯水池内基準地点	0.079
アルキル水銀 (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.005
PCB (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.005
チウラム (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.06
シマジン (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.03
チオベンカルブ (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.2
セレン (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.5
粒度組成(底質)4.75mm以上 (%)	200貯水池内基準地点	0.0
粒度組成(底質)4.75~2mm (%)	200貯水池内基準地点	0.0
粒度組成(底質)2~0.425mm (%)	200貯水池内基準地点	0.0
粒度組成(底質)0.425~0.075mm (%)	200貯水池内基準地点	0.7
粒度組成(底質)0.075~0.005mm (%)	200貯水池内基準地点	65.2
粒度組成(底質)0.005mm以下の粘土分 (%)	200貯水池内基準地点	34.1

6. 2023年 水質の経月変化

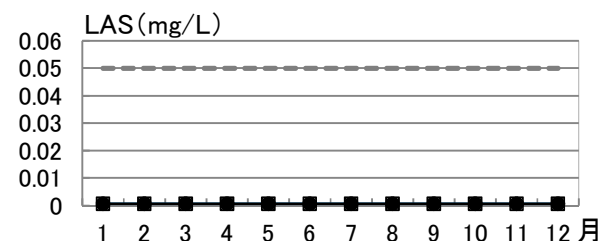
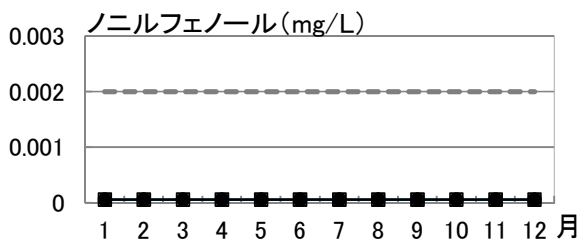
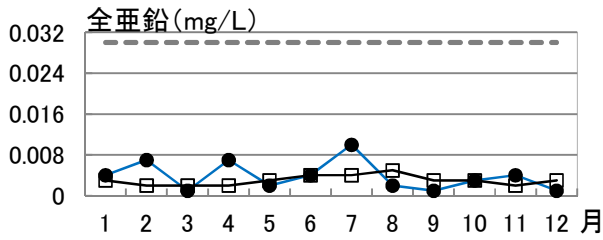
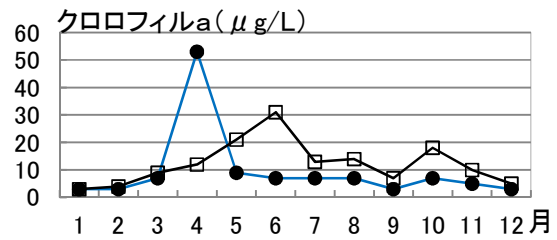
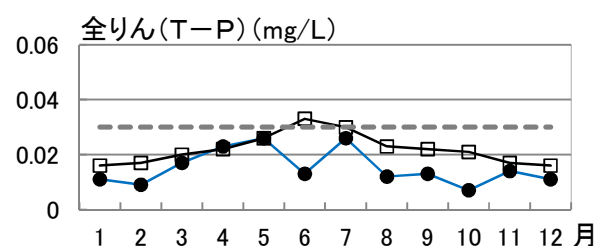
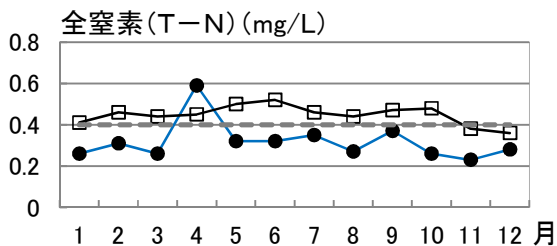
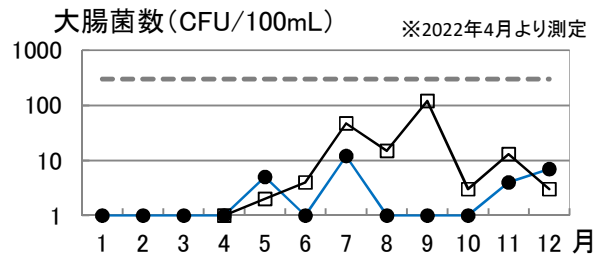
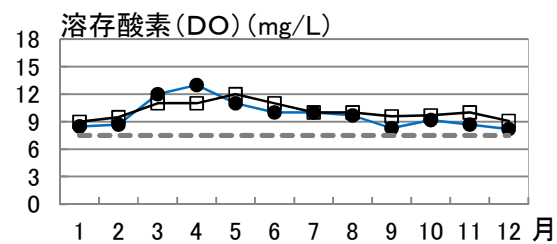
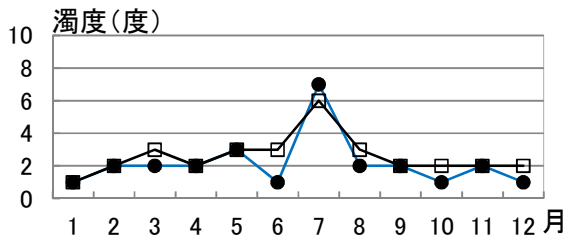
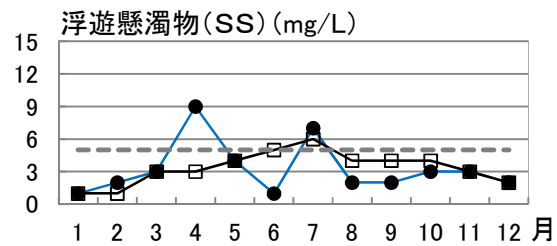
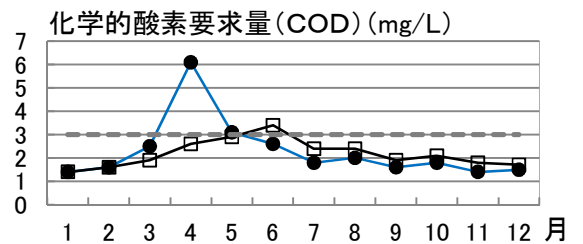
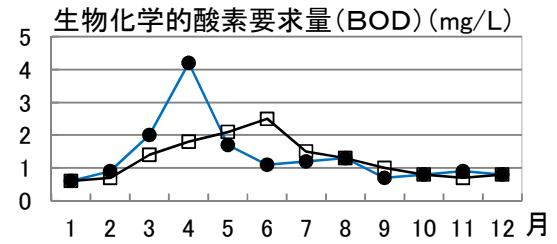
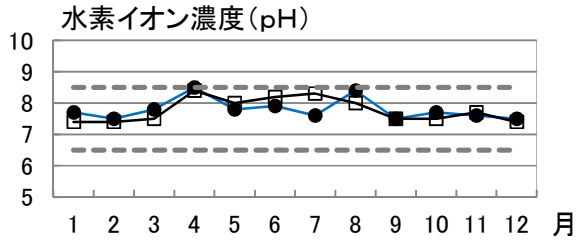
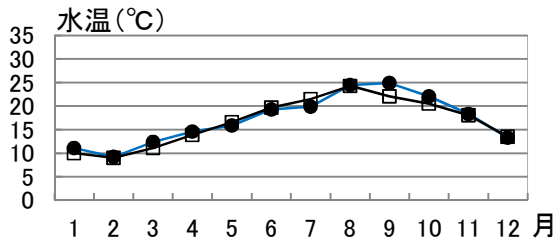
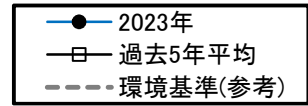
(1)300赤石川上流(流入河川)



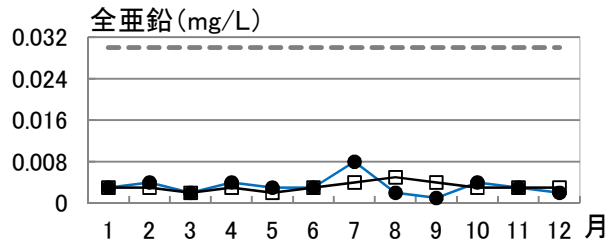
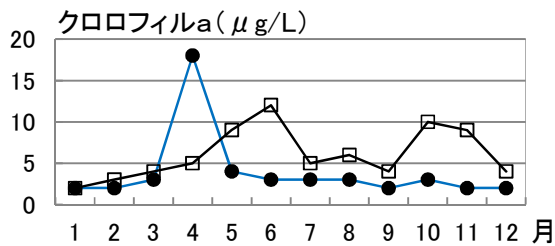
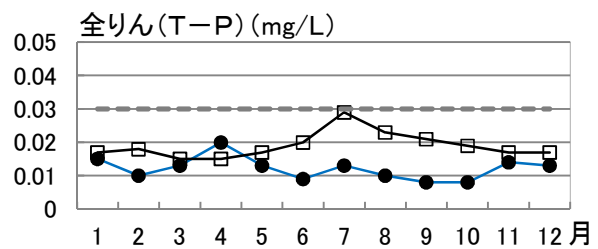
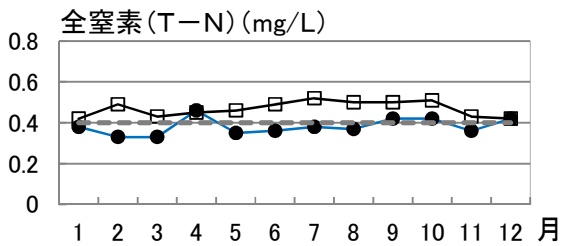
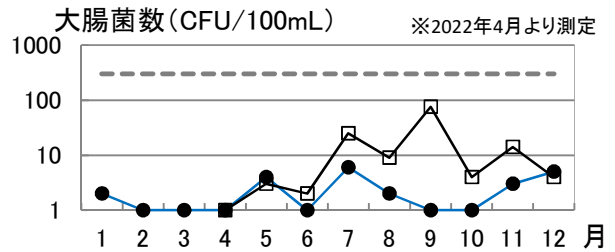
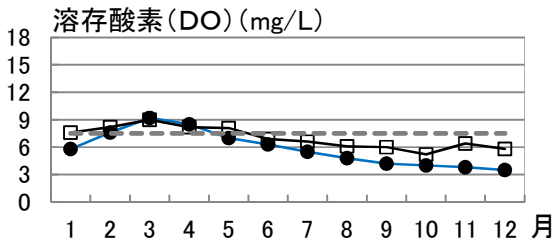
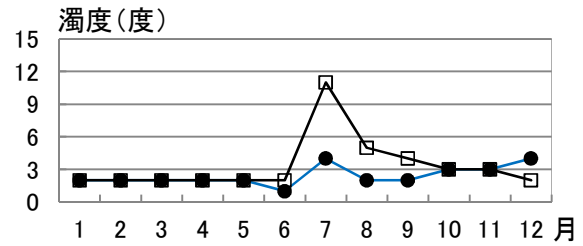
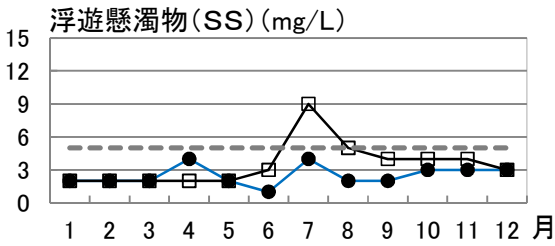
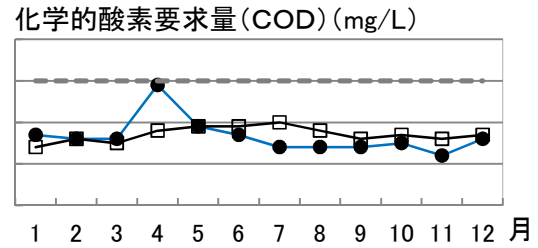
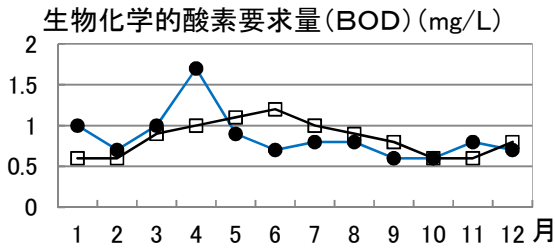
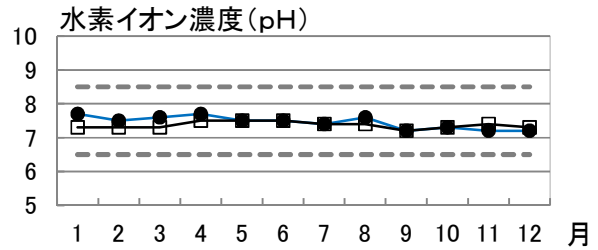
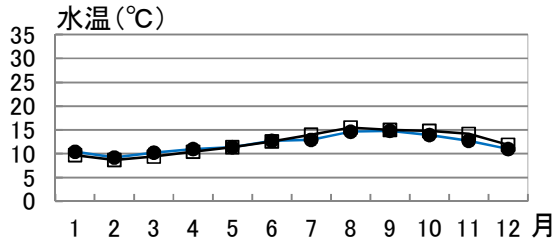
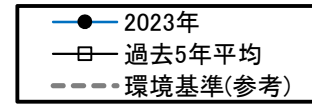
(2) 301竹の迫川(流入河川)



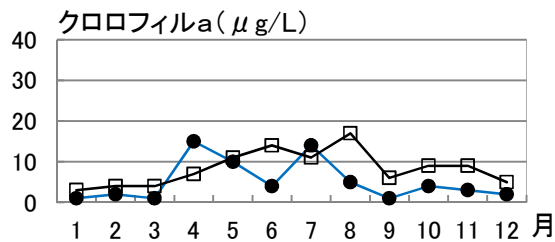
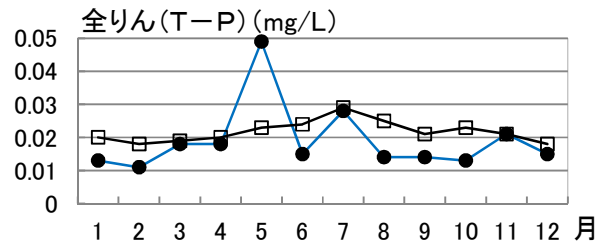
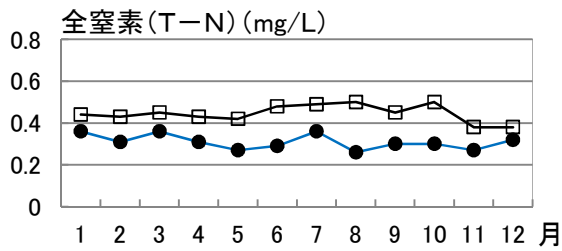
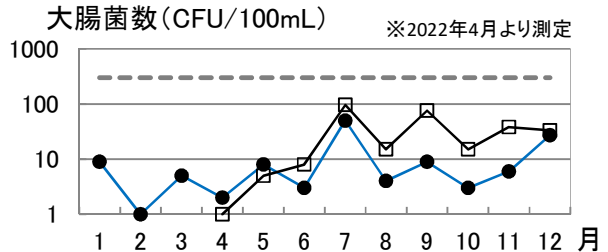
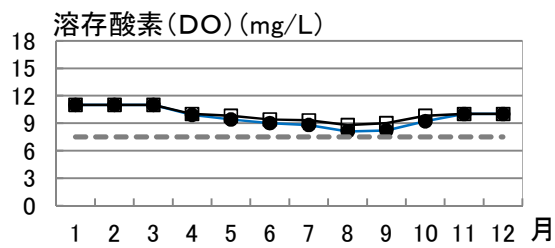
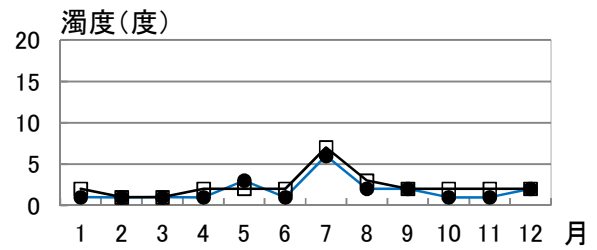
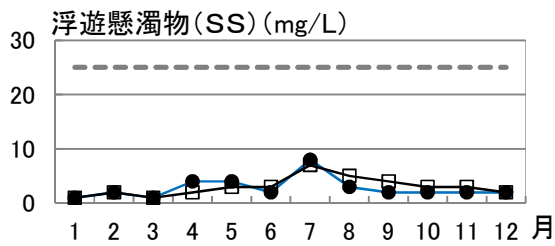
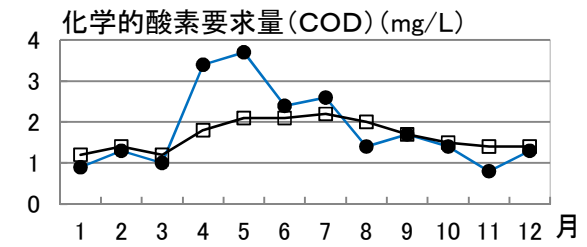
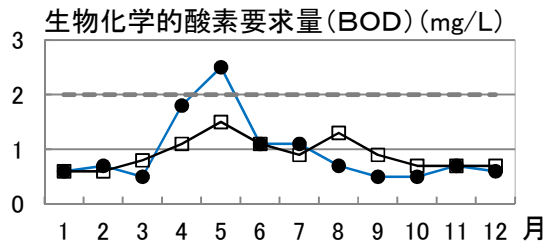
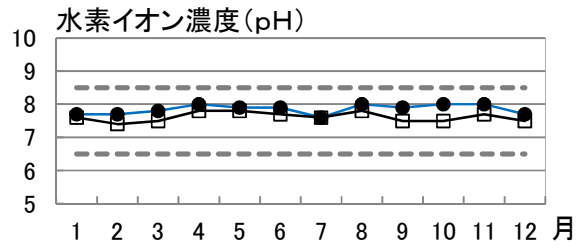
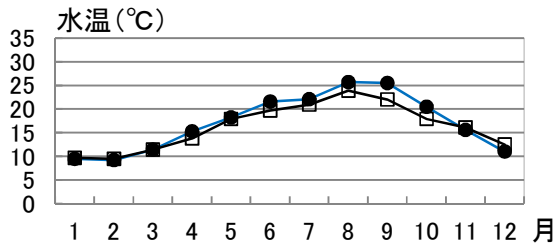
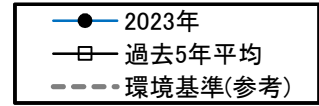
(3) 200貯水池内基準地点(表層)



(4) 200貯水池内基準地点(全層)

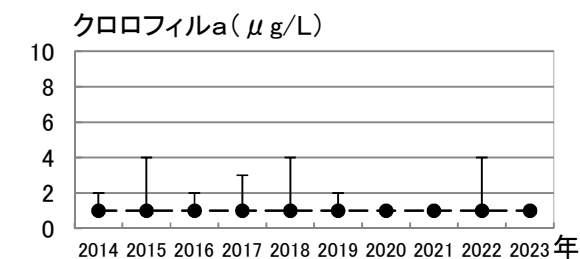
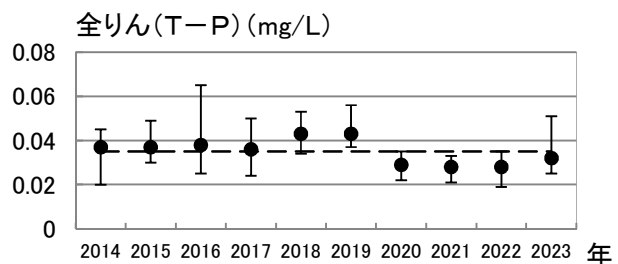
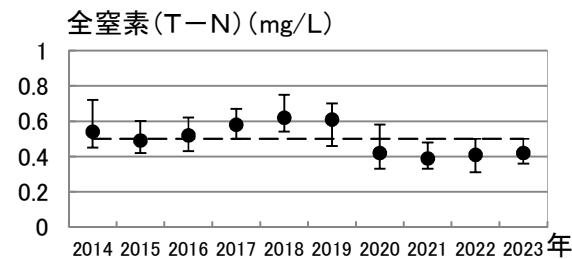
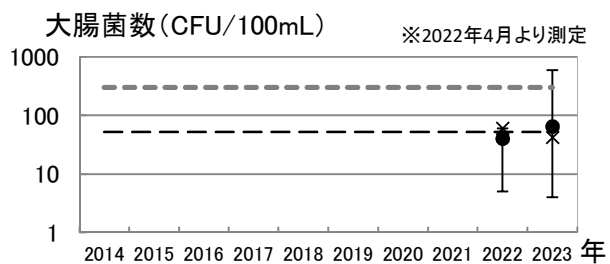
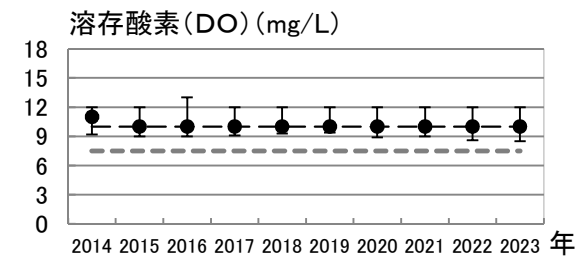
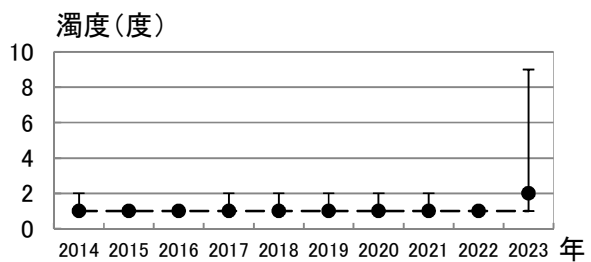
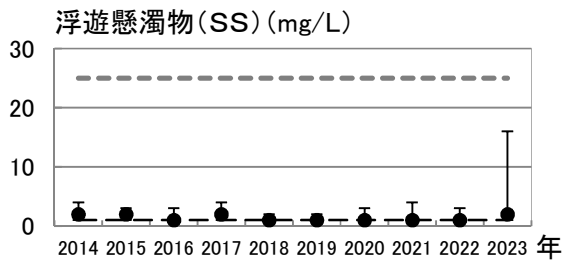
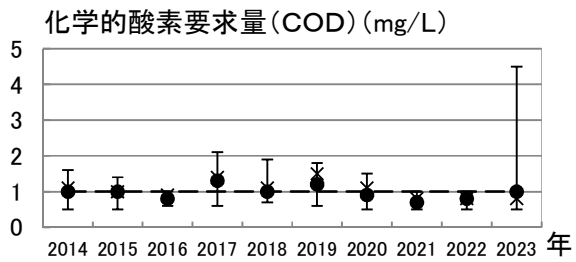
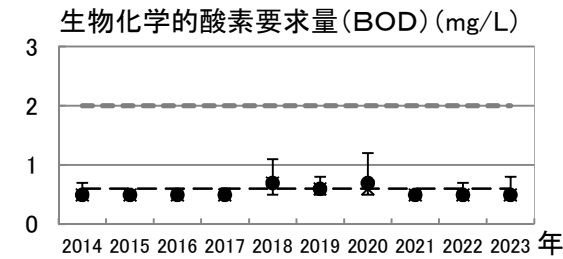
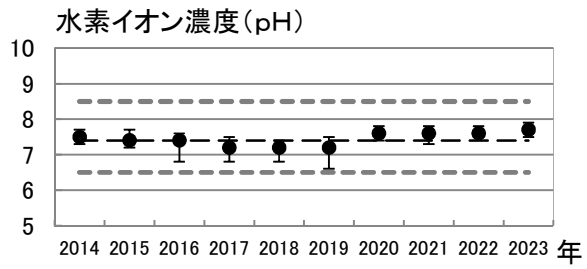
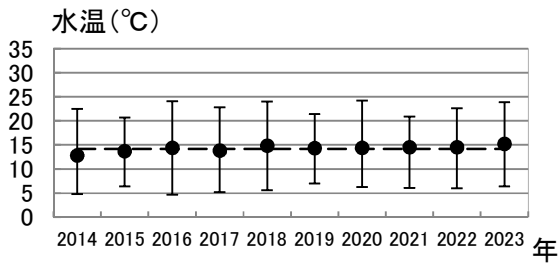
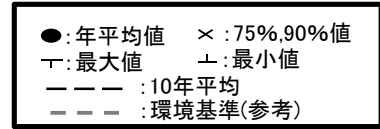


(5) 100赤石川下流(下流河川)

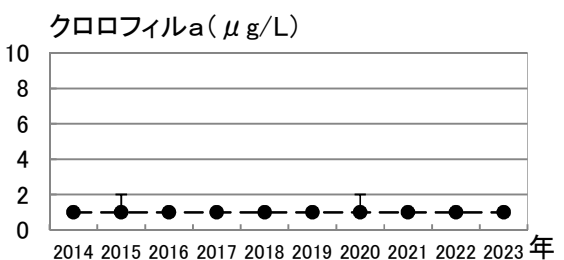
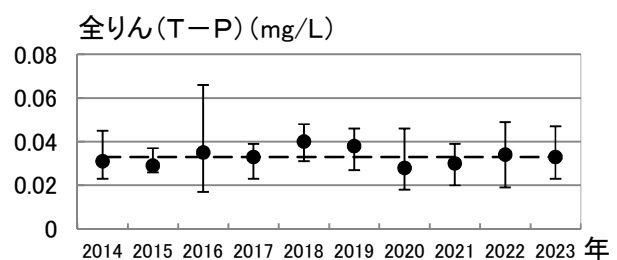
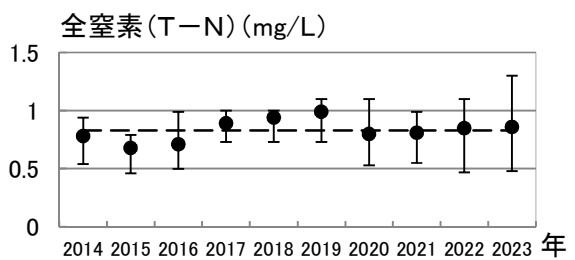
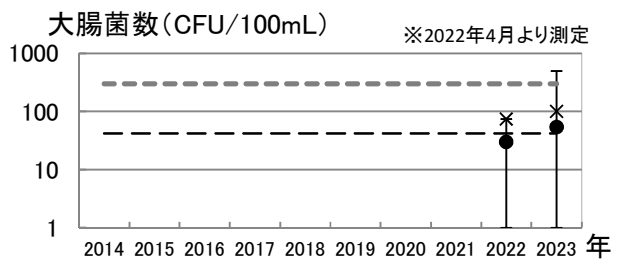
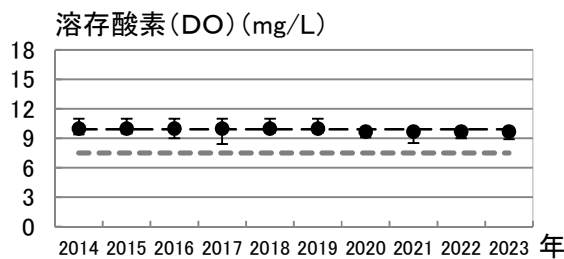
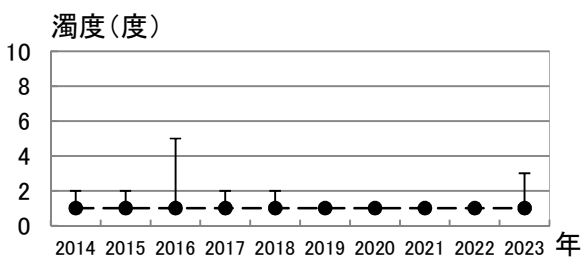
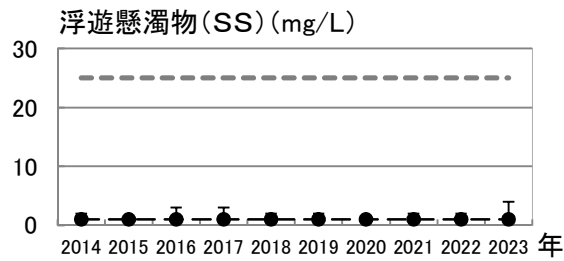
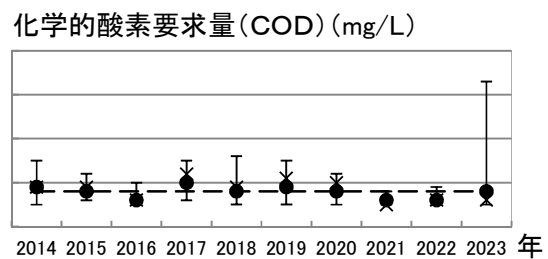
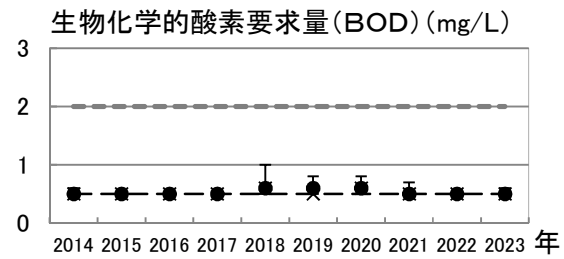
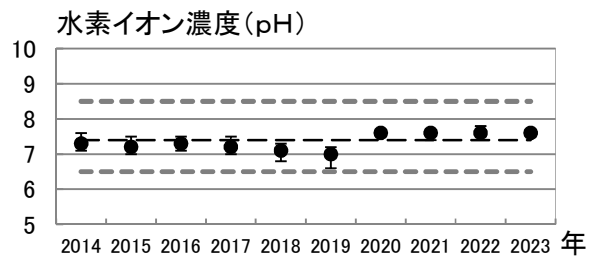
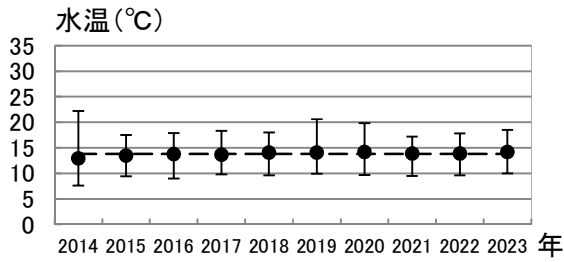
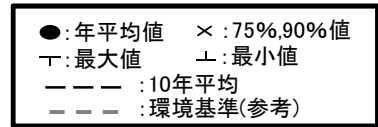


7. 2023年 水質の経年変化

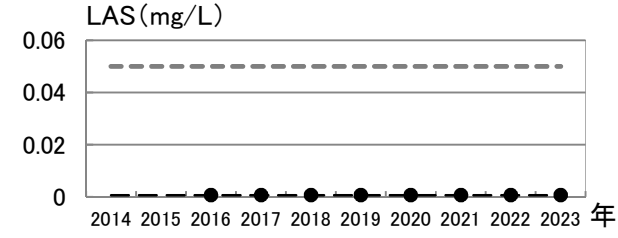
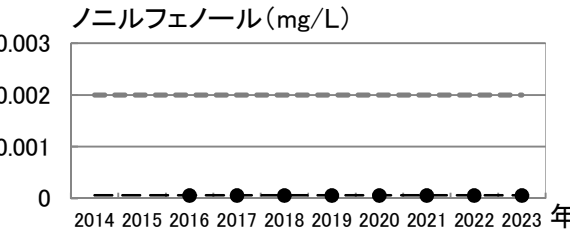
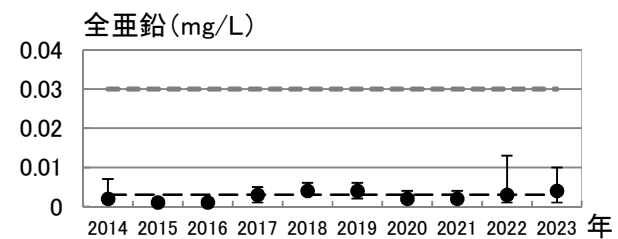
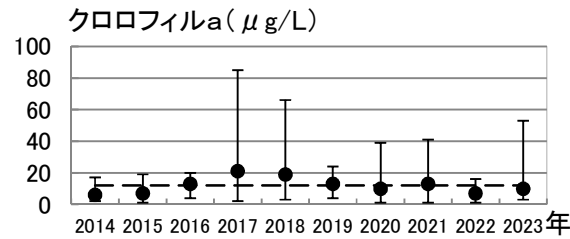
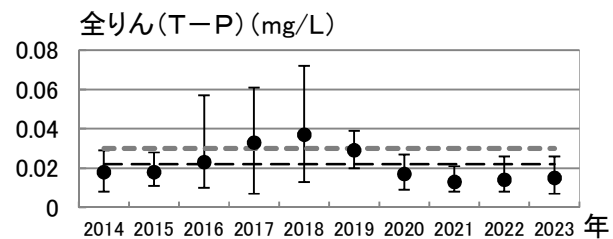
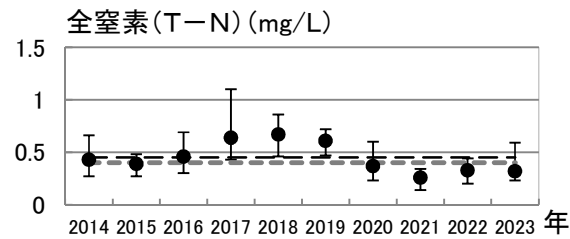
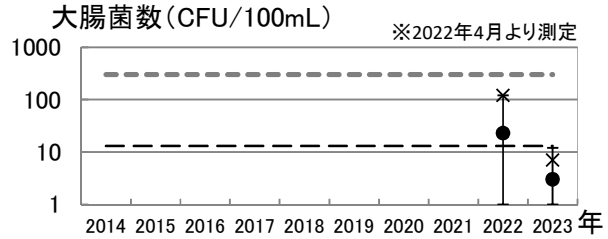
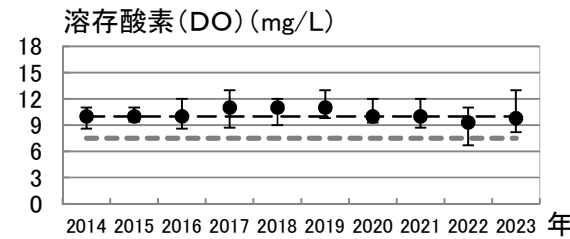
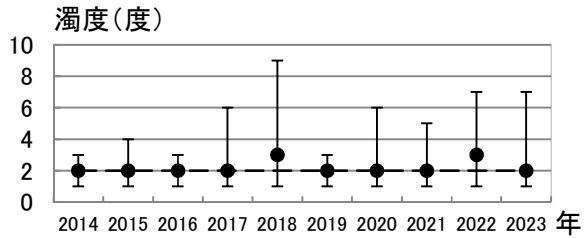
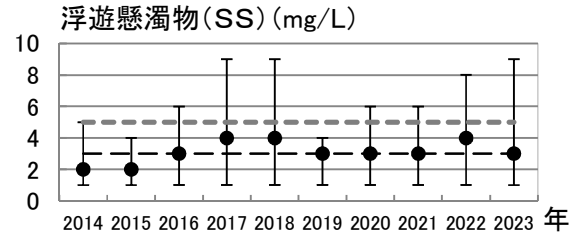
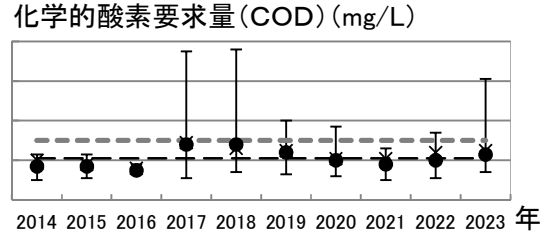
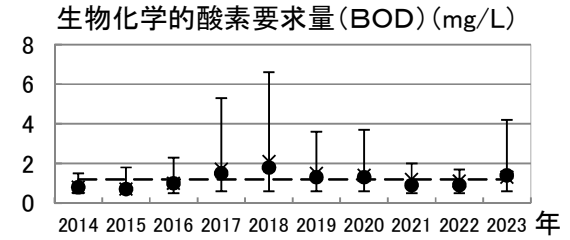
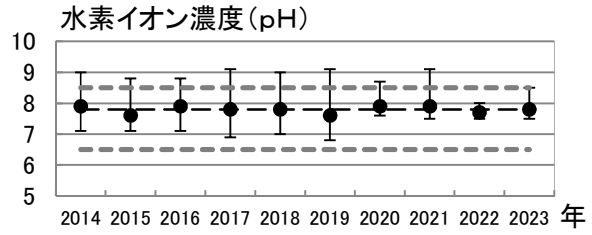
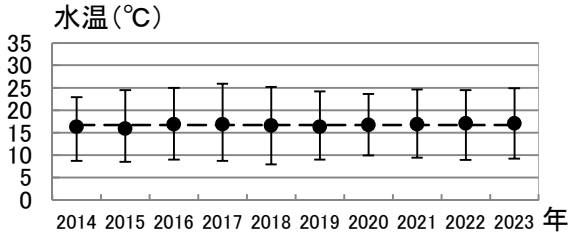
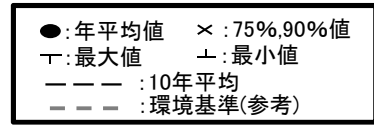
(1) 300赤石川上流(流入河川)



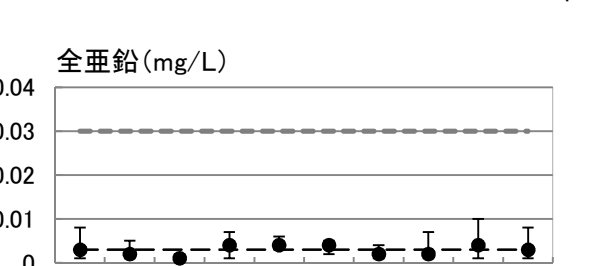
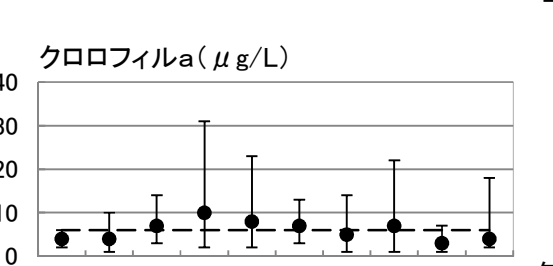
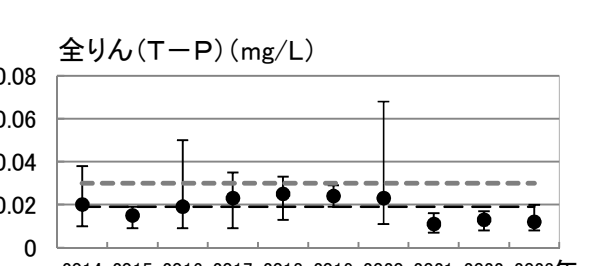
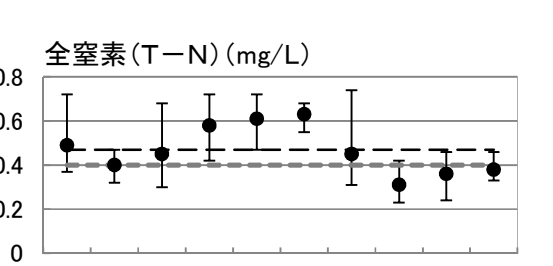
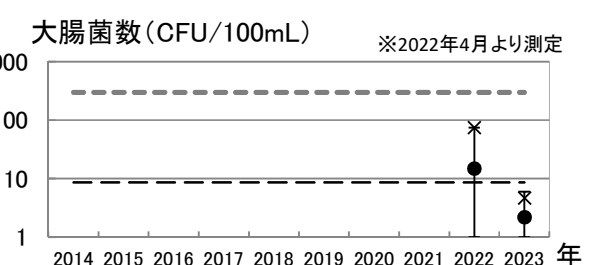
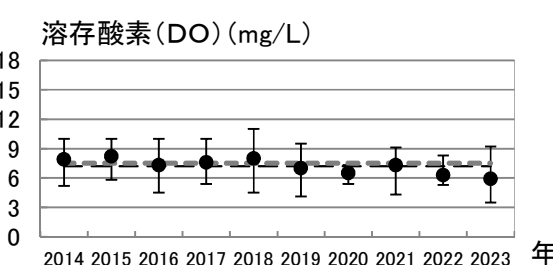
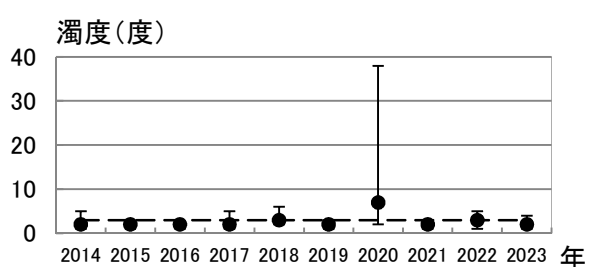
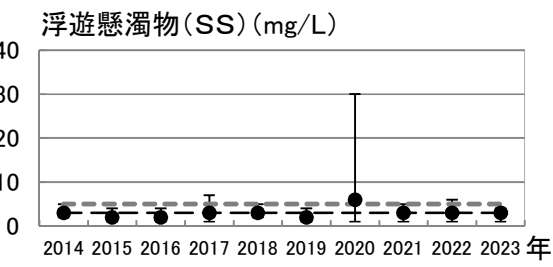
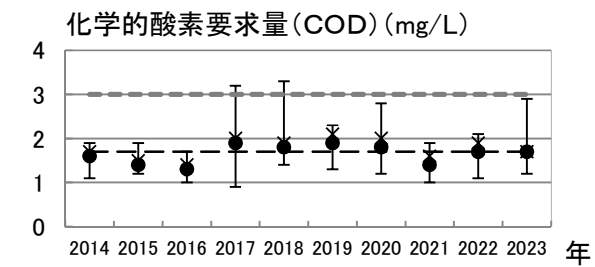
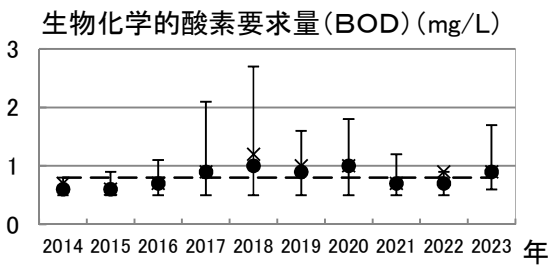
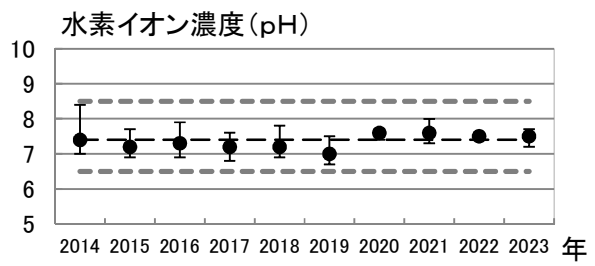
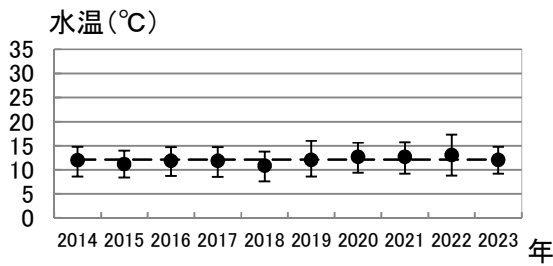
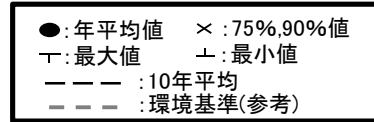
(2) 301竹の迫川(流入河川)



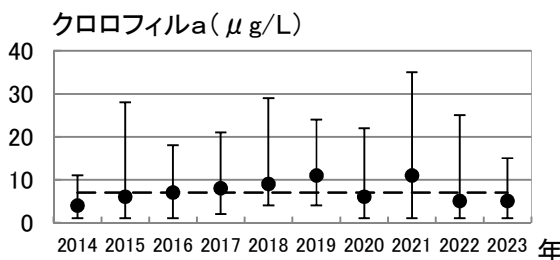
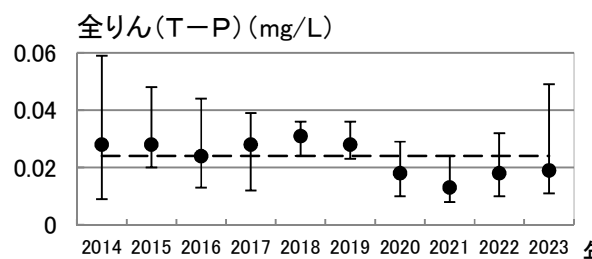
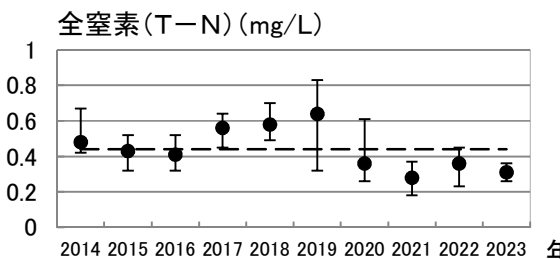
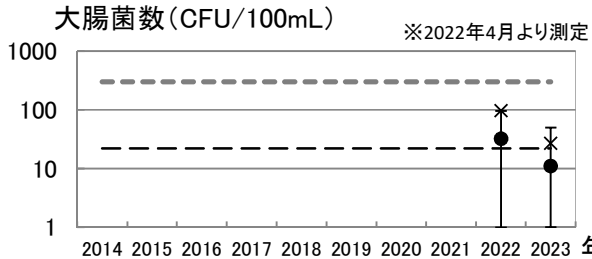
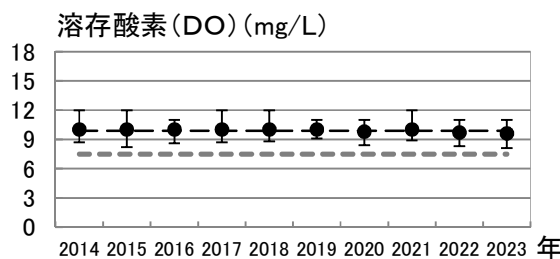
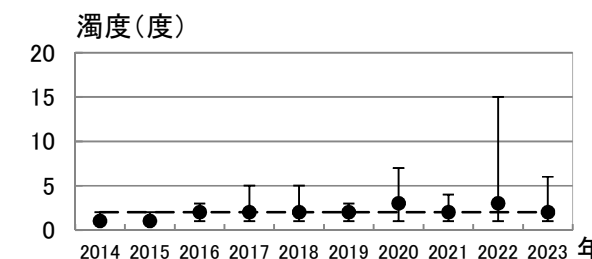
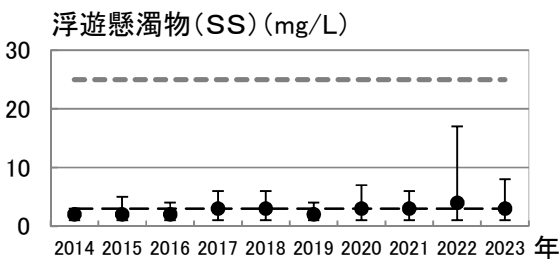
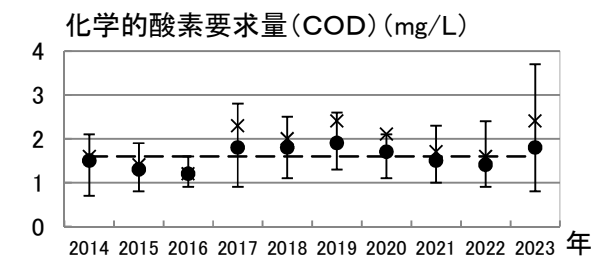
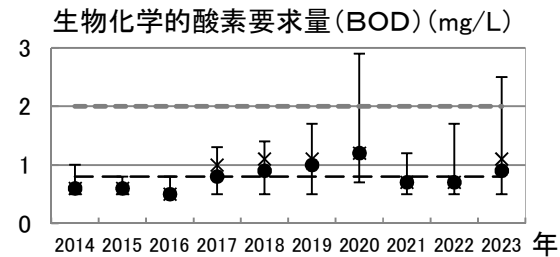
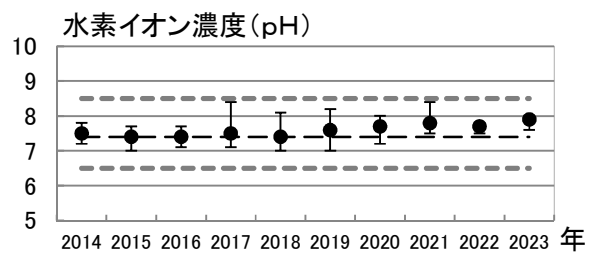
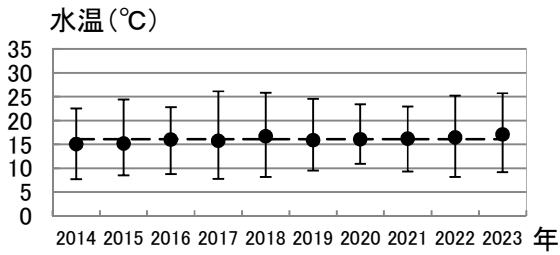
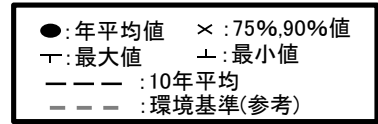
(3) 200貯水池内基準地点(表層)



(4)200貯水池内基準地点(全層)



(5) 100赤石川下流(下流河川)



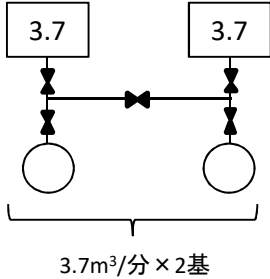
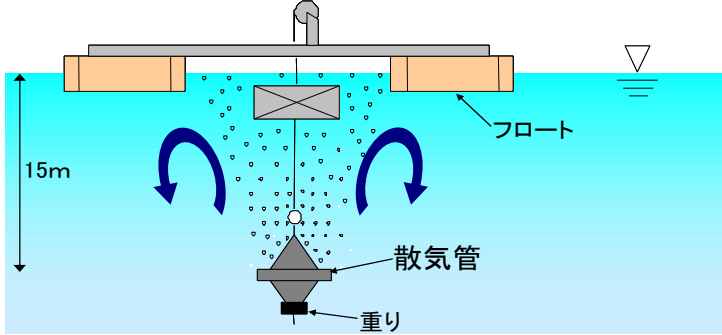
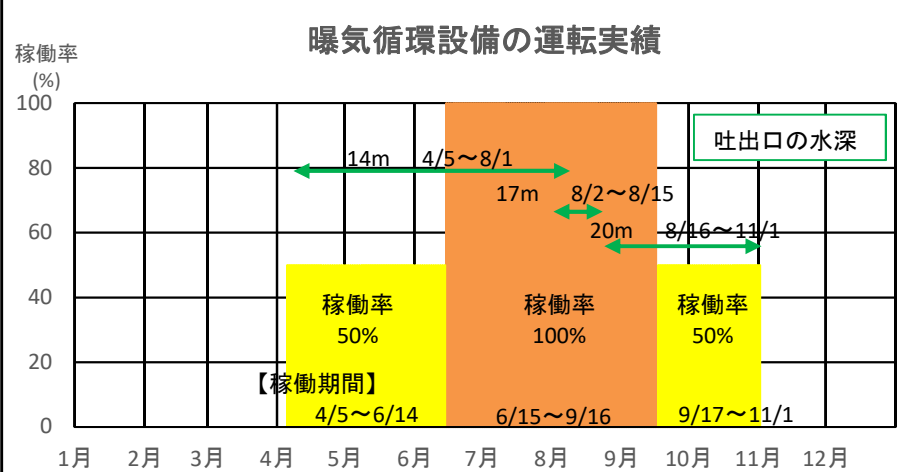
8. 水質異常の発生状況(大山ダム)

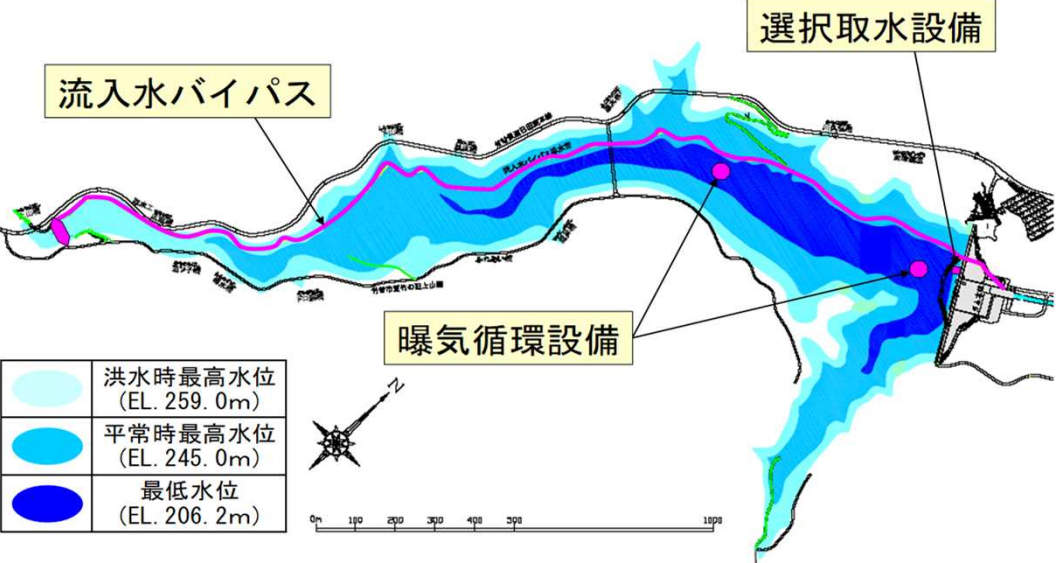
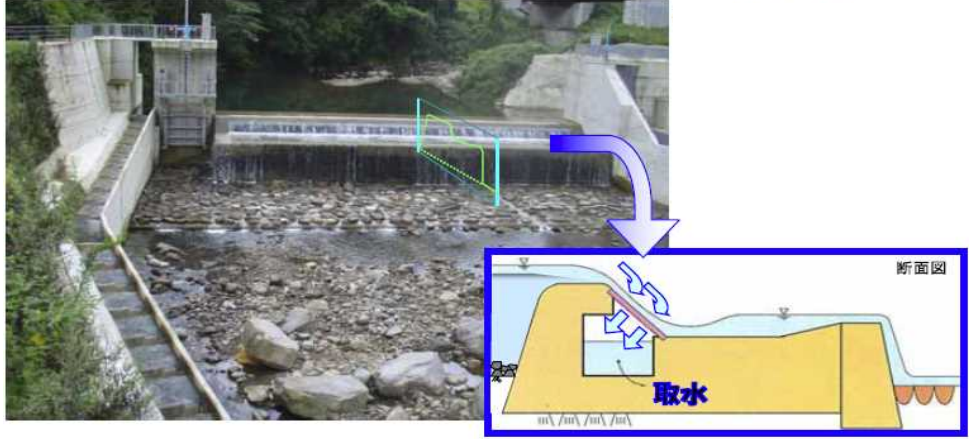
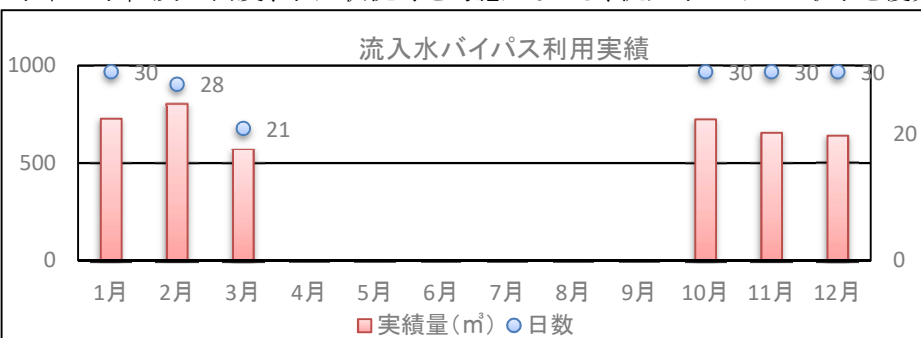
水質年報として取りまとめを始めた2013年以降における水質異常の発生状況は次図のとおりである。

	水質異常	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2013年	淡水赤潮			3/25カブトモス4/5									
2014年													
2015年	淡水赤潮				4/1渦鞭毛藻綱(ヘリテイニウム)4/20								
2016年													
2017年	淡水赤潮 アオコ				4/25渦鞭毛藻綱(ヘリテイニウム)6/14		7/24ラン藻類(ミクロキスティス)8/14	9/23ラン藻類(アナバナ、ミクロキスティス)10/23					
2018年	淡水赤潮 アオコ 異臭味				5/16ヘリテイニウム 6/25		8/1ヘリテイニウム 8/10						
2019年													
2020年	濁水長期化							7/11 ~ 8/12					
2021年	濁水長期化								8/15 ~ 9/6				
2022年	淡水赤潮					5/9	6/7 渦鞭毛藻綱(ヘリテイニウム)				10/6		
2023年	淡水赤潮				4/17	5/15	渦鞭毛藻綱(ヘリテイニウム) 8/1						
凡例	発生期間・規模(アオコ、淡水赤潮、水の華) 小規模(部分的) ===== 中規模(貯水池半分程度) ————— 大規模(貯水池全体) 発生期間(異臭味、濁水長期化) —————		アオコの代表的なレベル(集積の状況) ② レベル2 うっすらとすじ状にアオコの発生が認められる ③ レベル3 アオコが水の表面全体に広がり、所々パッチ状になっている ④ レベル4 膜状にアオコが湖面を覆う ⑤ レベル5 厚くマット状にアオコが湖面を覆う ⑥ レベル6 アオコがスカム状(厚く堆積し表面が白っぽくなったり青の縞模様になることもある)に湖面を覆い、腐敗臭がする										

9. 水質保全設備

<p>施設区分</p>	<p>選択取水設備</p>								
<p>形式</p>	<p>選択取水ゲート ・側壁付円形多段式ローラーゲート ・φ2.00m～3.00m×全扉高51.2m(5段) 1門 ・最大取水量 14.0m³/s(最低水位標高206.2m) ・取水上限 標高245.0m</p>								
<p>設置目的</p>	<p>放流水温対策</p>								
<p>設置時期</p>	<p>2011年度</p>								
<p>施設構造等</p>									
<p>2023年運用実績</p>	<p>取水深は、ダム上下流の水温差を極力なくすために取水深を上下させて、適切な水温及び水質となる取水深としている。</p> <table border="1"> <caption>貯水位(大山ダム) 主要水位データ</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>標高 (EL.m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>洪水時最高水位</td> <td>259</td> </tr> <tr> <td>平常時最高貯水位</td> <td>245</td> </tr> <tr> <td>最低水位</td> <td>206</td> </tr> </tbody> </table>	項目	標高 (EL.m)	洪水時最高水位	259	平常時最高貯水位	245	最低水位	206
項目	標高 (EL.m)								
洪水時最高水位	259								
平常時最高貯水位	245								
最低水位	206								

<p>施設区分</p>	<p>曝気設備</p>																						
<p>形式</p>	<p>曝気循環設備 2基</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水位追従式(曝気水深10~23m可変式) ・巻上方式 手動ウィンチ式 ・空気圧縮機 スクリュー型給油式(パッケージ形) 37kW 2基 <p> □ : コンプレッサー (m³/min) 点線は予備機 ○ : 吐出口 (散気式) ● : 吐出口 (複合型)、 △ : 吐出口 (間欠揚水筒式) ▲ : 吐出口 (散気式揚水筒) </p> 																						
<p>設置目的</p>	<p>藻類発生抑制対策</p>																						
<p>設置時期</p>	<p>2011年度</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">空気圧縮機</th> <th colspan="2">曝気方式</th> </tr> <tr> <th>能力 (m³/min)</th> <th>台数</th> <th>種類</th> <th>基数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.7</td> <td>2</td> <td>散気管 水深可変式</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>総空気量 (m³/min)</td> <td>7.4</td> <td>平均水深</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>K値</td> <td>203</td> <td>KH値</td> <td>3045</td> </tr> </tbody> </table>	空気圧縮機		曝気方式		能力 (m ³ /min)	台数	種類	基数	3.7	2	散気管 水深可変式	2	総空気量 (m ³ /min)	7.4	平均水深	15	K値	203	KH値	3045	<p>・建設時導入 : 2013年~</p>
空気圧縮機		曝気方式																					
能力 (m ³ /min)	台数	種類	基数																				
3.7	2	散気管 水深可変式	2																				
総空気量 (m ³ /min)	7.4	平均水深	15																				
K値	203	KH値	3045																				
<p>施設構造等</p>																							
<p>2023年 運用実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月5日~6月14日、9月17日~11月1日 : 稼働率50%運転 ・6月15日~9月16日 : 稼働率100%運転 <p>曝気循環設備の吐出口は14m、17m、20mと段階的に変えて運用</p> <div style="text-align: center;"> <p>曝気循環設備の運転実績</p>  </div>																						

<p>施設区分</p>	<p>流入バイパス</p>																																							
<p>形式</p>	<p>取水堰(堤頂幅2.7m、高さ5.00~7.17m、堤頂長51.5m) 水位低下用ゲート 幅2.30m×高さ2.30m 1門 集水路制水ゲート 幅1.50m×高さ1.00m 1門 沈砂池土砂吐きゲート 幅1.20m×高さ1.20m 1門 管入口制水ゲート 幅0.80m×高さ0.80m 1門 調整水槽土砂吐きゲート 幅0.80m×高さ0.80m 1門 流入水バイパス主ゲート(ジェットフローゲート、φ350mm 1門、最大放流量1.2m³/s) 放流管(流入水バイパス管) φ800mm×管長2,620m</p>																																							
<p>設置目的</p>	<p>温水放流対策</p>																																							
<p>設置時期</p>	<p>2011年度</p>																																							
<p>施設構造等</p>	 <table border="1" data-bbox="343 1097 630 1265"> <tr> <td></td> <td>洪水時最高水位 (EL. 259.0m)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平常時最高水位 (EL. 245.0m)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>最低水位 (EL. 206.2m)</td> </tr> </table> 		洪水時最高水位 (EL. 259.0m)		平常時最高水位 (EL. 245.0m)		最低水位 (EL. 206.2m)																																	
	洪水時最高水位 (EL. 259.0m)																																							
	平常時最高水位 (EL. 245.0m)																																							
	最低水位 (EL. 206.2m)																																							
<p>2023年運用実績</p>	<p>取水堰の水位及び濁度、水温状況等を考慮しながら、流入水バイパス取水を優先した。</p> <p>流入水バイパス利用実績</p>  <table border="1" data-bbox="383 1792 1308 2128"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実績量 (m³)</th> <th>日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月</td> <td>~700</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>~800</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>~600</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>~700</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>~650</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>~650</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	月	実績量 (m ³)	日数	1月	~700	30	2月	~800	28	3月	~600	21	4月	0	0	5月	0	0	6月	0	0	7月	0	0	8月	0	0	9月	0	0	10月	~700	30	11月	~650	30	12月	~650	30
月	実績量 (m ³)	日数																																						
1月	~700	30																																						
2月	~800	28																																						
3月	~600	21																																						
4月	0	0																																						
5月	0	0																																						
6月	0	0																																						
7月	0	0																																						
8月	0	0																																						
9月	0	0																																						
10月	~700	30																																						
11月	~650	30																																						
12月	~650	30																																						